

教育目標

【自分づくり】社会に目を開き 「なりたい自分」の姿を描き 実現しようとする人

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

学校だより 第27号

ひらく

平成28年12月20日発行
須賀川市立第三中学校
TEL 73-2377
発行責任者：校長 高崎則行

「座右の銘」を持たせたい

12月に入って、計画に沿って高校受験の面接の練習を進めています。その中で意識して次のような質問をするようにしています。

- あなたが親友にする人には、どんな条件を求めますか。
- あなたは、担任の先生からどのようなことを学びましたか。
- あなたの座右の銘（ざゆう・の・めい）は何ですか。

この中の3点目です。将来の展望を持ち、自分の前途を切り拓（ひら）いていこうという年代になったら、「座右の銘」の一つも持っていてほしいと思います。格言や金言という場合もありますが、その中で常に自分のそばにおいて、自分を戒（いまし）めたり支えたりしてくれる言葉が「座右の銘」です。

私が最後に学級担任をしたクラスに、「『新年の抱負』に『信念』を」と題して、2年生の時にこんな宿題を出しました。

はじめに、郷里の偉人 野口英世が家を出るときに柱に彫りつけたという「志ヲ得ザレバ再び此地（このち）ヲ踏マズ（医師になるという志が遂げられないときは、二度とここには戻るまい。）」という言葉を紹介して、「冬休みを利用して、先人の言葉や格言、故事、諺（ことわざ）などから生活信条として自分を支えてくれる言葉を探してこよう。緩（ゆる）みがちになる自分を引き締めたり、現状に妥協（たきょう）しがちな自分に鞭（むち）を入れたり、さらに自分を高めようと努力することができます。君たちも自分の生き方を支えてくれる、そんな言葉を持ってもいい年齢になった。」と呼びかけたのです。

この宿題については「必ず」と念を押さなかったのですが、「全員はやってこないだろう」と思っていたのですが、なんと全員やってきました。その中から2つ紹介しましょう。



「人は山にはつまずかない。せいぜい小石だ。安心して歩け。」

（前略）私はこれを今年の抱負にしようと思う。勉強でも部活動でも地道に一生懸命やっている人には勝てないし、全く失敗しない人なんていない。

今年は受験生になる。今から地道に勉強していったら、失敗なんて小石程度だ。一步一步着実に前進し、安心して歩もうと思う。

「立志」

私の今年一年の抱負は「時間を大切に作る」だ。（中略）去年は時間に流され、毎日をただ何となく過ごしてしまったように思う。今考えると、それが悔しくて仕方がない。（中略）冬休みに読んだ本の中で、「立志」という言葉を知った。ある目的を立て、それをやり遂げようと決心し、努力することだ。私はこの言葉がとても好きになった。なぜなら、私には大きな夢があるからだ。学校でも何度か進路の勉強をしたが、自分の就（つ）きたい職業は、そこに到達するまでの道から少しでも外れたらたどり着けないと思うからだ。私は絶対にその夢をかなえたいから、必ずその道を歩めるように頑張ろうと思う。楽ばかり求めていたのでは絶対になわないということを心においておこうと思う。

あれから20年以上経過していますが、時々読み返しています。何度読み返しても、真っすぐな若者の考え方は実に気持ちがいいものです。そして、勇気とパワーをもらっています。

小学生と版画の並行授業

12月14日（水）、本校の1年生が須賀川三小に行って、小学4年生と並行授業を行いました。「並行授業」とは本校独自の用語で、小学生と中学生が隣り合った空間で学習することで、それぞれの独自性を保ちながら学習を進め、必要に応じていつでも交流できる授業形態です。

期待できる効果は次のとおりです。

- 小学校の教員は中学校で子どもはどのように育つのか、中学校の教員は小学校でどのように育ってきたのかを理解して指導にあたることができる。
- 中学校の教員は小学生の活動を見て、専門教科の立場から気づいたことをその都度アドバイスできる。小学校の教員は指導の在り方について随時アドバイスを求めることができる。
- 小学生は、今やっている学習（版画）が中学生になると、どのように発展するのかをイメージすることができる。また、必要に応じて中学生の助言や支援を受けることができる。
- 中学生は、小学生の参考になるよう、制作上の工夫をもうひと頑張りできる。また、小学生に助言や支援をすることで、理解や技能などがより確かなものになる。



2年生、薬物乱用防止教室

11月29日（火）、県中保健福祉事務所の河村智子先生をお迎えして、2年生に「薬物乱用防止教室」を実施しました。



このところ芸能人の麻薬所持・使用などのニュースが続きました。麻薬や覚せい剤だけではなく、使用が認められている薬品でも適正な使用でなかったら、た

った1回でも「乱用」です。

薬物に関する正しい知識を身に付けて、正しい判断をして自分の心身の健康を守れるようになってほしいと思います。

「ダメ、絶対！」です。



三中ギャラリー

10月に校内文化祭「華王祭」展示の部では、全校生の書写の作品を校内に展示しました。皆さん、ご覧いただけただけでしょうか。

左の6点は、岩瀬地区中学校書写コンクール入選作です。

グローバル化が進む中で、学校教育では我が国の伝統と文化を尊重する態度がいつそう重視されています。1年生には書き初めが宿題として課されています。家族みんなで毛筆をとるのも一興（いっきょう）ですね。2、3年生のご家庭でもいかがでしょうか？